

新年の抱負 小さな1歩―「我が子へ」

年末にプロスキーヤーの三浦雄一郎さんにお会いしました。

80歳で3度目のエベレスト登頂に成功した超人です。三浦さんは「1歩1歩」という言葉を何度も話されました。その時思い出したのが、生前交流のありました故相田みつを先生の以下の詩です。

歩幅に多少の差はあるけれど 1回に出せる足は 誰でも1歩だ
1回に五歩も十歩も 出すわけにはいかぬ

いま、ここ、の、一步を 具体的に、しかも確実にだすことだ
この小さな一步の連続が 富士山へもヒマラヤへもつづくんだから

その反対 ぼんやり過ごす1日 いいわけとぐちで 過ごす1日
その連続で日がくれる そういう人生もあるからな

1歩が大事 どんなに小さくても いま、ここ、の 具体的な一步が大事

木田幼稚園では今年からロボット・プログラミング教育を導入します。私は昨年11月にこの分野で世界で一番進んだエストニア国に出かけました。

天皇陛下即位の礼のおり、真っ先にエストニア国の大統領にアポイントを取ったのがトヨタ自動車の豊田昭男社長と言え、皆さんもお分りかと思えます。この国は130万の小さな国ですが世界で唯一インターネットで選挙を行う国です。住民登録から会社設立まですべてインターネットでもものの10分で誰もが取得できる国です。安倍首相もeアドレスを持っています。

来年、小学校でプログラミング教育が実施される事。ティム・クック、アップルCEOがこれからは「母国語とプログラミング言語が大事だ」という言葉で、それなら本当の教育を見なければと思いついたのがはじまりです。行って驚いたのはこの教育を実践する幼稚園教師、保育士がすべて大学院の修士、博士の資格を有するという事。そして、周りの環境は自然一杯で、豊かな自然環境はこの教育に絶対に必要であるという事です。

こうして実際に見て、感じ、勉強した事を早速「お子様に導入したい」気持ちでいっぱいです。その為に教員の資質向上に取りかかります。プログラムの教材は東京大学の山内先生はじめいくつかを導入します。

私ながらの1歩、今年の間出です。興味がありましたら気軽に木田幼稚園にお問い合わせ下さい。

理事長